



きょうえい にゅーす

2016年2月1日発行

KYOEI NEWS

第191号



共栄システム株式会社

〒550-0011 大阪市西区阿波座1丁目15番7号
TEL(06)-6535-7511 FAX(06)-6535-7517
E-mail osaka@kyoeisystem.co.jp
URL <http://www.kyoeisystem.co.jp>

<運送会社の経営情報>

A社の環境分析

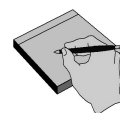


近畿圏で運送事業を経営するA社は、中期的な経営戦略策定のために、自社における現状の事業環境を分析することになりました。

事業環境の分析手法として一般的に採用されているのが**SWOT分析**です。

A社のSWOT分析は以下のようになりました。

S(当社の強み)	W(当社の弱み)
<ul style="list-style-type: none">・荷主金業関連との密接な関係づくりが構築できている・総合物流サービス機能(直集・直配のパーソナル便、24時間対応の自社倉庫等)を保有している。・直集・直配のパーソナル便による荷主からお届け先までの一貫サービスが可能・24時間対応の自社倉庫等によるジャストインタイムが実現可能・多様な車両(10t～2t等)を保有し、ホーム高に合わせた迅速な入出庫が可能・環境対策にも注力(急停車・急発進抑制運動の実践のほか、低公害車の積極的な導入など)	<ul style="list-style-type: none">・財務体質が脆弱(借入過多)・主要取引先への依存体質(営業力、価格交渉力が弱い)・従業員の高齢化・トップの意思決定基準が不明瞭・社長の独断性が強く、ワンマン体質・労使間の信頼関係構築ができていない・人材育成制度の不備・後継者が不在
O(外部環境における機会要因)	T(外部環境における脅威要因)
<ul style="list-style-type: none">・燃料価格の下落に伴い、業績回復の兆しが見られる。・貨物取引量の安定(アベノミクスによる円高修正により自動車輸出競争力が強化したことによる)・消費税増税(8%→10%)による駆け込み需要・荷主企業の物流集約化へのニーズの高まり	<ul style="list-style-type: none">・原油価格の先行きが不透明(燃料費の変動リスク)・駆け込み需要の反動・荷主からの物流コストの削減要請・乗務員の人材不足、高齢化・労働環境の不備・法的規制、社会的規制の強化・経済的規制緩和による競争激化



A社は、運送事業から、将来的に倉庫取得による保管、流通加工機能のさらなる強化による総合物流化への脱皮を計画しています。

しかし、**計画の実現を目指すためには、現状の的確な事業分析(内部環境、外部環境)は不可欠です。**自社の強み、弱みの分析、外部環境の状況把握は、戦略実現化の第1歩と言えます。

※※共栄ニュースはeメールによる配信も承ります。※※

ご要望の際はメールアドレスをFAX(06-6535-7517)までご連絡ください。

貴社名	アドレス
-----	------